

第2 知事戦略

第 2 知 事 戦 略

知事戦略部は、「新・群馬」の創造に向けた取組の司令塔として、政策立案や情報発信、デジタルトランスフォーメーションの推進、業務プロセスの改革、トップ外交、グリーンイノベーションの推進などを戦略的・機動的に実施している。

令和4年度は、「新・群馬県総合計画」を着実に進め、本県の飛躍への新たな一步を踏み出すため、「湯けむりフォーラム」の開催、YouTuber等を活用した県政情報発信、ぐんま再生可能エネルギープロジェクトなど、次の重点施策等に取り組んだ。

【令和4年度に実施した重点施策及び主な取組】

1 政策立案・検証

- ・新・群馬県総合計画の普及啓発
- ・教育イノベーションの推進
- ・官民共創コミュニティの育成
- ・湯けむりフォーラム2022の開催

2 戦略的な情報発信

- ・ぐんまちゃんのブランド力強化
- ・動画・放送スタジオ「tsulunos」の運営・活用
- ・YouTuber等を活用した県政情報発信

3 デジタルトランスフォーメーションの推進

- ・地域課題解決プロジェクトによる実証事業の実施
- ・官民共創スペース「NETSUGEN」の運営・活用

4 業務プロセス改革の推進

- ・マイナンバーカード取得促進
- ・デジタル基盤整備

5 グリーンイノベーションの推進

- ・ぐんま再生可能エネルギープロジェクトの実施
- ・グリーンイノベーション加速化支援

6 戦略的な地域外交

- ・知事によるトップ外交の再開、国際交流イベントの実施
- ・上海事務所運営

1 知事戦略管理費

(1) 庁議

知事、副知事、各部局長等で構成する「庁議」を開催し、県の重要施策についての協議や情報共有を行った。

開催回数	付議件数
30回	59件

(2) 総務調整費

決算額 12,665 千円

部内共通経費や年度途中で機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区分	金額
主管課運営費（主管課経費）	2,831千円
部局調整費（赴任旅費等）	9,459
県民広報費（チラシ印刷等）	375

(3) 社会参加費

決算額 45 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体の会合出席に伴う会費等の支出を行った。

所属数	金額
知事戦略部3課1所	45千円

(4) 政策調査

決算額 2,586 千円

職員の自由な発想を県政に反映させるため、政策プレゼンを実施した。一般職員から5テーマの提案があり、全てが令和5年度において予算化・事業化された。また、政策プレゼンの実施や新規政策の検討のため、職員が行う調査研究について「政策プレゼン調査研究費」により予算面の支援を行った。

対象調査研究数	金額
3件	493千円

(5) 戦略企画推進

決算額 1,279 千円

① 庁内連携ブリーフィング等運営

県の施策に係る全庁的な調整・情報共有のため「庁内連携ブリーフィング」を10回開催した。

② 寺子屋・自我作古開催支援

職員の政策立案能力の向上及び多様な主体との協力関係の構築を目的とした自主勉強会（寺子屋・自我作古）の開催を支援した。

- ・開催支援回数8回（参加者数延べ146人）

(6) 連携推進

決算額

81,459 千円

① 各種知事会議

各種知事会議の場において、本県の考え方や政策を発信するとともに、近隣県との連携並びに国への要望活動を実施した。

会議名	開催状況
全国知事会議	<ul style="list-style-type: none"> ・2回（7月、11月）開催 ・令和5年度税財政に関する提案や国施策予算への要望などを決議
関東地方知事会議	<ul style="list-style-type: none"> ・2回（5月、10月）開催 ※5月はWeb開催 ・本県発議「多文化共生・共創社会の実現に向けた施策の推進について」等全23項目の国への要望を決議

② 教育イノベーション・プロジェクト

ア OECD「社会情動的スキルに関する調査」(SSES)

OECDが実施する教育分野の国際調査である「社会情動的スキルに関する調査」(SSES)に日本で唯一参加し、令和4年度は県立高校14校で試行調査を行うとともに、令和5年度に実施する本調査に向けた準備を行った。

イ STEAM教育推進

希望する高校に対し、STEAM教育の専門家による教員研修や授業サポートを実施した。(教員研修10校、授業サポート4校)

ウ グローバル始動人サマーキャンプ

県内外の高校生を対象に、リベラルアーツ教育を再現した1週間の合宿型プログラムを実施した。(参加人数33名)

③ 公立大学法人等評価

群馬県公立大学法人の中期計画等を審議するための評価委員会を開催した。

(7) 未来創生

決算額

70,591 千円

① 総合計画・総合戦略

ア 総合計画

幅広い世代を対象に、新・群馬県総合計画の普及啓発を実施した。

- ・取組事項：新・群馬県総合計画の「まんが」の制作、若者向けイベント、大学等での講義

イ 総合戦略

第2期群馬県版総合戦略について、評価検証に係る有識者会議を開催し、外部有識者の意見を踏まえ、評価検証結果を報告書としてまとめた。

② ふるさと納税推進

ア ぐんまふるさと納税（個人版ふるさと納税）

具体的な政策メニューを提示するなど工夫を行い、施策に賛同いただいた多くの方から寄附を受け入れた。さらなる寄附の確保に向け、令和4年度にアニメ「ぐんまちゃん」Blu-rayなどを返礼品に追加し、返礼品の充実を図った。

（令和4年度寄附受入実績：1,053件、72,140,800円）

イ 企業版ふるさと納税

本県が行う地方創生の取組に対し、賛同いただいた幅広い企業から寄附を受け入れた。

（令和4年度寄附受入実績：33件、93,830,700円）

③ 地方創生関係交付金

地方創生関係の交付金について、県が実施する事業の庁内調整、県及び市町村申請のとりまとめ等、事務手続きを行った。

区 分	実 績（国費ベース）
地 方 創 生 推 進 交 付 金	21事業 971,006,000円
地 方 創 生 拠 点 整 備 交 付 金	4事業 325,522,071円 （令和3年度繰越含む）

④ デジタル田園都市国家構想推進交付金

デジタル田園都市国家構想推進交付金について、県が実施する事業の庁内調整、申請のとりまとめ等、事務手続きを行った。

区 分	実 績（国費ベース）
デ ジ タ ル 実 装 タ イ プ	6事業 179,522,748円

⑤ 官民共創コミュニティ育成

地域の課題解決や新たな価値の創出の場となる官民共創コミュニティを育成するため、市町村と連携し、ファシリテーターの養成研修や地域別のワークショップを開催した。

区 分	開催状況	参加者
ファシリテーター 養成研修	4回開催 （7月、8月、11月、12月）	県職員 33人 市町村職員 39 （23市町村）
地域別ワークショップ	9回開催 （北群馬渋川、多野藤岡、吾妻の地域 ごとに3回）	北群馬渋川 53人 多野藤岡 43 吾妻 57

⑥ 湯けむりフォーラム

地域社会が抱える様々な課題解決に向けて、時代の最先端をゆく独自のモデルや新たな価値を生み出すため、トップリーダーや有識者等による基調講演やトークセッションなどを行うカンファレンスイベント「湯けむりフォーラム 2022」を開催するとともに、年間を通じて熱量ある多種多様なコンテンツをオンラインで配信した。

・湯けむりフォーラム 2022

区 分	内 容
開 催 日	令和4年12月16日(金)～17日(土)
開 催 場 所	群馬県吾妻郡草津町
参 加 者 数	297名
主なプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演（河野太郎デジタル担当大臣） ・河野大臣と知事とのトークセッション ・分科会（リトリート、クリエイティブ、グリーンイノベーション、教育イノベーション、Web3、ダイバーシティ・インクルーシブ） ・群馬交響楽団アンサンブルコンサート ・AKB48 ミニライブ ・日経テレ東大学「Re:Hack」特別番組

・年間制作コンテンツ

区 分	制作実績
動 画	29本(※)
テ キ ス ト	12

※令和4年度に配信した動画の総再生回数は455,864回（令和5年5月1日現在）

※これまで配信した動画の総再生回数は718,889回（令和5年5月1日現在）

⑦ 官民共創による政策実現のためのオンラインプラットフォーム

多様な意見を取り入れた官民共創による政策実現の一環として、デジタルを活用した新たな政策形成プラットフォーム（PoliPoli Gov）により、政策に関するテーマを掲示し、オンライン上で幅広く県民の声を募集した。

募集テーマ	募集期間	意見件数
群馬県の魅力は何ですか？	令和4年5月13日～ 5月27日	61件
ごみを減らすための楽しく面白いアイデア・取り組みは何かありますか？	令和4年6月30日～ 7月24日	84
あなたにとっての文化とは何ですか？ その他文化関係3テーマ	令和4年9月16日～ 12月11日	4テーマ計 144
群馬県民が安全に過ごすための、自転車事故を減らすアイデアはありますか？	令和4年9月30日～ 11月30日	179
群馬県の古民家を生かすために、どんな活用アイデアがありますか？	令和4年11月9日～ 令和5年1月10日	114
群馬県でのんびり数日間過ごすなら、なにをしたいですか？	令和4年12月7日～ 令和5年1月10日	84

⑧ 奨学金返還支援

若者の県内就職を促進し、県内定着を図るため、従業員の奨学金返還支援を行う中小企業等を支援する補助金について、令和4年度は4社（12名）に対して補助を行った。

(8) データ分析・活用推進

決算額 6,730 千円

県政の最大目標である「県民幸福度の向上」に向け、幸福度を「見える化」し政策の方向性を示すことを目的に「令和4年度群馬県幸福度レポート」を公表した。さらに、令和5年度の幸福度レポートへの活用に向け、県民の主観的な幸福感を把握するため、「県民幸福度アンケート」を実施した。

(9) 東京事務所運営

決算額 26,634 千円

県と中央省庁、国会、県人会等をつなぎ、各都道府県、知事会等との連携を推進する在京の窓口として、県政運営に有益な情報の収集、県政情報の発信を行った（国の予算情報の収集、県人会を通じたふるさと納税の周知やぐんま暮らしの魅力発信など）。

- ・各部局と連携し、中央省庁、国会等への要望活動を実施した（計144件）。

2 メディアプロモーション費

(1) メディア戦略推進

決算額 17,578 千円

① ぐんま応援びと

SNSで本県の魅力発信を行っている県民による、草の根的な発信を推進する事業として、3つのテーマで写真や動画の投稿コンテストを実施した。

- ・テーマ及び期間

回	テ	マ	期	間
第 1 回	ぐんまの風景・食べもの (写 真 部 門)		令和4年4月22日 ～令和5年1月31日	
第 2 回	ぐんまの風景・食べもの (動 画 部 門)		令和4年9月30日 ～令和5年2月12日	
第 3 回	メイドインぐんま (写 真 部 門)		令和5年2月1日 ～3月5日	

- ・フォロワー数等実績

区	分	内	容
表彰者総計	フォロワー数	23,800	人
県	S N S フォロワー数	15,328	
庁内の投稿写真等	の二次利用	19	回

② デザインマネジメントチームの設置

会計年度任用職員 1 名をイラスト動画デザイナーとして配置し、庁内のチラシ・ポスター等の広報物に係る相談やデザイン支援を実施した。

- ・ 庁内制作等の受付件数 241 件

③ ソーシャルリスニング

県重要施策に関連した 28 キーワードのトレンド分析により施策立案に寄与した。また、各所属が運用する SNS の 11 アカウントをデータ分析・競合アカウント分析し、発信体制再構築の推進を行った。

(2) コンテンツ推進

決算額 429,889 千円

群馬県のキラークンテンツの一つである「ぐんまちゃん」の認知度を世界的に高め、本県のブランド力強化と県民の郷土愛の醸成を図ることを目的に動画コンテンツの製作・配信やプロモーションを実施した。

① ぐんまちゃんキャラバン隊

ぐんまちゃんを隊長とした「ぐんまちゃんキャラバン隊」がイベントや県内幼稚園等を訪問して、群馬県の PR や子ども達の郷土愛の育成、県民プライド醸成に取り組んだ。

- ・ 出動回数：319 回（内訳：イベント等 171 回、幼稚園等：106 回、動画撮影等：42 回）

② アニメ製作

令和 3 年度に続き、ぐんまちゃんのブランド力を強化して国内外にプロモーションする起爆剤として、アニメーション（シーズン 2）の製作を行った。

完成した作品は、令和 5 年度にテレビ放送と動画配信を行うこととなった。

- ・ 製作実績

区 分	内 容
制 作 話 数	全 39 話（1 話約 7 分）
監 督	本郷みつる （「クレヨンしんちゃん」「キョロちゃん」など実績多数）

- ・ テレビ放送（シーズン 2）

区 分	内 容
放 送 期 間	令和 5 年 4 月～7 月 30 分番組として全 13 回放送
放 送 局	全 4 局 BS フジ、群馬テレビ、TOKYO MX、AT-X

- ・ 動画配信

区 分	内 容
配 信 サ ー ビ ス	20 サービス （Lemino、アニメタイムズ、hulu、FOD ほか）

③ 公式グッズ制作

令和 3 年度に引き続き、ぐんまちゃん公式グッズを制作・販売した。

区 分	内 容
ぬいぐるみ	種類：ぐんまちゃん 数量：各 1,800 個（うち 1,750 個を販売）

④ ぐんまちゃん全国プロモーション実施

「ぐんまちゃん」の認知度を向上させるプロモーションをぐんまちゃん自身のPRとアニメPRの2つの軸で展開した。

・「NRC全国キャラクター調査」結果

区 分	令和3年度	令和4年度
全国認知度	44%	42%
好感度	10	8

⑤ ぐんまちゃんお誕生日会

ぐんまちゃんが主催するファンイベントとして、「ぐんまちゃんお誕生日会」をリアルとオンラインで開催した。リアルでの開催は平成30年（2018年）の開催以来4年ぶりだった。ゲストに県内外のキャラクターのほか、アニメ「ぐんまちゃん」出演の高橋花林さんらを招待して、声優によるトーク&生アテレコやキャラクター達による寸劇を披露した。

区 分	内 容
開 催 日 時	令和5年2月19日(日) 午後1時30分～3時
開 催 方 法	初の有料開催（中学生以上 1,000 円、小学生以下 500 円） ※オンラインでは無料で視聴可能
会 場	群馬会館 定員：262名（うち車椅子席4席）
出 演 者	・ぐんまちゃん、あおま、みーみ ・高橋花林、内田彩、小倉唯 ・県内外のキャラクター計10団体

⑥ ぐんまちゃんの情報発信

ア ウェブサイト「ぐんまちゃんオフィシャルサイト」にぐんまちゃん関連の情報を集約・発信するとともに、アニメ公式ページによりアニメを周知した。

イ ぐんまちゃん本人のSNSアカウントを運用して、全国に情報発信を行った。また、ショート動画によるぐんまちゃん自身の魅力と県内観光地等の発信を行うために、新たにTikTokを開設した。

区分	フォロワー数	備考
【Twitter】ぐんまちゃん	約4.1万人	
【Twitter】公式情報	約0.95	
【Instagram】ぐんまちゃん	約2.7	
【TikTok】ぐんまちゃん	約1.6	令和4年10月開設

⑦ ぐんまちゃんのデザイン利用許諾

ぐんまちゃんのデザイン利用について、利用書類の修正や許諾事務の見直しをするため、取扱要領や利用の手引きの一部を改正した。また、利用促進を図るため、利用の手引きに掲載するイラストの追加を行った。

・許諾件数：令和4年度 867件（令和3年度 991件／令和2年度 1,105件）

⑧ ぐんまちゃんの著作権契約・権利保全

ア 関連キャラクター20体について、著作権の譲渡契約を原作者と締結した。

イ ぐんまちゃん及び関連キャラクターについて、国内の商標登録及び海外の著作権登録を行い、権利保全を行った。

(3) 広報活動

決算額 145,661千円

県政に対する県民の理解を深めるため、広報紙・テレビ・ラジオ等を活用し、迅速かつ確かな県政情報の発信に努めるとともに、子どもや高齢者・障害者等にも配慮した、分かりやすい広報を積極的に行った。

区 分		事 業 量		事 業 費
刊行物	ぐ ん ま 広 報	585,000部／回	1回	91,174千円
		570,500	6	
		560,500	5	
	t s u l u n o s P L U S	年4回発行		4,061
		570,500部／回	2	
560,500		2		
点 字 広 報	395部	12	2,367	
声 の 広 報	140本	12	365	
テレビ	県政インフォメーション 群馬テレビ「ニュースジャスト6」内	番組内コーナー（1分30秒） 206		17,403
ラジオ	ぐんま情報トッピング	4分番組	208	14,419
	ワイグルPREF	1分55秒番組	206	7,067
	コミュニティFM		815	8,805

(4) インターネット広報

決算額 69,451千円

① 動画・放送スタジオ運営

県庁32階展望フロアにある動画・放送スタジオ「tsulunos」を活用し、県民に県政情報を届ける動画や、国内外に県の魅力を発信する動画を制作、公開した。

区 分	事 業 量		事 業 費
スタジオを活用した動画制作	動画本数	1,269本	6,574千円
	再生回数	13,936,377回	
	(再生回数は、SNS動画及びYouTube「劇団ぐんまちゃん」含む)		

② 群馬県ホームページ運営

主としてインターネット情報通信技術の特長を生かした迅速で細かい情報提供を行うなどにより、県民の県政参加への関心を高めた。また、令和4年12月1日に県公式ホームページを全面リニューアルした。

区 分		事 業 量	事 業 費
電 子 媒 体	県 ホーム ページ	全体アクセス件数 約 6,500 万件	40,185 千円
	県 Twitter	フォロワー数 59,591人	
	県 LINE(群馬県デジタル窓口)	友だち数 796,592	3,300

③ YouTuber 等を活用した県政情報発信

県内を撮影地とする YouTuber による旅行動画及び著名人活用動画の公開等を実施した。公開動画の総再生回数は 300 万回を超えるなど国内外に県の魅力を発信した。

区 分	事 業 量	事 業 費
YouTuber 等を活用した県政情報発信	インバウンドをターゲットに海外で人気のインフルエンサーPewDiePieの動画制作を支援 ・動画再生回数 300 万回超	17,979 千円
動画制作補助業務	アイドルグループ「AKB48」等が出演する動画素材を制作 ・動画再生回数 1.2 万回超	1,000
映像クリエイター事務所トップ招へい事業	多くの YouTuber が所属する UUUM(株)の県内ロケ地視察等を実施	413

(5) 記者室運営

決算額 10,459 千円

記者会見や資料提供等により、報道機関に対する積極的な情報提供を行い、県民に対する情報発信を充実した。

区 分	事 業 量	事 業 費
記 者 会 見	184件 (県:109、その他:75)	10,459千円
資 料 提 供	4,483 (県:2,128、その他:2,355)	

3 デジタル化推進費

(1) デジタルトランスフォーメーション推進

決算額

97,763千円

① ぐんまDX加速化プログラム推進

日本最先端クラスのデジタル県を目指し、様々な分野で自立的なDXの流れを作ることを目的として令和3年度に策定した「ぐんまDX加速化プログラム」を推進した。

「新・群馬県総合計画（ビジョン）」に掲げる19の政策分野で、チャレンジ事業（56件）、ステップアップ事業（55件）の計111事業を実施し、全体の9割が予定どおり又は前倒しで進行している。

② 地域課題解決プロジェクト

各分野の行政課題をデジタル技術により解決するための実証事業を実施した。

区分	事業内容	実証成果	事業費
さよなら手入力プロジェクト(AI-OCR)	紙に記載された情報をExcel等の電子データに転記する作業を手入力からAI-OCRを活用することで職員の省力化を図った。	・庁内30所属で利用 ・約12,000枚を解析 ・作業時間を最大75%削減	1,793千円
県立病院へのWeb問診システム導入	紙の問診票を電子カルテへ入力する作業に多くの時間が必要となっていることから、Web問診システムを活用し、効率化を図った。	・電子カルテへの入力作業約5分+紙問診票のスキャン作業の削減	1,046
県立病院への音声入力システム導入	電子カルテへ入力する作業について、音声システムの活用により、業務を効率化した。	・約3割のユーザが作業削減と回答 ・作業時間17%削減	2,082
データに基づく農業経営判断ツールの実証	蓄積した栽培環境データをアメダスや市場データ等と組み合わせ分析し、農産物の栽培管理だけでなく経営判断や産地計画にまで当該データを活用するサービスの実証を行った。	・農家(5戸)、JA、業者、県の4者で検証 ・2回のワークショップを実施し、データの収集や活用を学ぶ	795
ぐんま大雨時デジタル避難訓練	自宅や地域にどのような災害のリスクがあるか、避難所の位置などを知ってもらい、防災意識の向上を図った。	・延べ参加回数15万回以上 ・フィードバック8,000件以上	

③ 群馬デジタルイノベーションチャレンジ

デジタルトランスフォーメーション(DX)の発想やデジタルスキルを活用して、地域課題の解決や新たな価値を生む「デジタル人材」を育成した。また、子どもを取り巻く環境に関わらず、デジタルスキルを学ぶ機会の平等を図った。

区 分	実 績	事業費
県立高校の部活動支援	・講師派遣計回数：88回 ・プログラミングコンテスト3組入賞 ・参加生徒：78人	20,630千円
地域ICTクラブ	・講座実施回数：18回 ・参加児童：約80人	

④ 官民共創スペース運営・活用

官民共創スペース NETSUGEN において、会員数増加に向けた取組や、交流事業を行った。

区 分	実 績	事 業 費
会 員 数 の 状 況	月額法人会員 65社 月額個人会員 65人	59,835千円
交 流 事 業 の 開 催	350回	

⑤ NETSUGEN アライアンス構築推進

NETSUGEN をハブとして、県内コワーキング施設との連携を実施した。また、NETSUGEN アライアンス+plus として、ワーケーション施設に月額会員が宿泊した場合に1泊につき5,000円の割引を受けられる制度を運用した。

区 分	実 績	事 業 費
連 携 施 設 の 状 況	16施設	9,825千円

4 業務プロセス改革費

(1) 業務改革推進 決算額 25,663千円

① 行政改革推進

県行政改革大綱に基づき、県政のデジタル化推進や多様で柔軟な働き方の実現等に向けた行政改革の取組を行った。

『日本最先端クラスのデジタル県』を目指し、大綱におけるDXの取組を抽出した群馬県庁DXアクションプランに基づき、行政手続のオンライン化等に取り組んだ。

② ぐんま電子申請受付システム運用

行政手続の申請・届出等をインターネットを利用して行う「ぐんま電子申請等受付システム」を市町村と共同して運用した。

区 分	利 用 件 数
電 子 申 請 受 付 シ ス テ ム	432,706件

(2) 自治体DX 決算額 650,319千円

① マイナンバーカード取得促進

商業施設に申請サポート特設ブースを設置（11月、12月、2月）するとともに、各種申請促進施策を実施した（申請率75.4%（令和4年度末現在））。

② 社会保障・税番号制度推進

マイナンバー法の規定による情報連携を行うための情報システム（番号連携サーバー）の運用保守及び更新を行った。

③ 情報セキュリティ

職員の情報セキュリティに係る意識を高め、サイバー攻撃による情報漏えい等の被害を防止するため、研修やeラーニング（6,081人受講）、標的型攻撃メール訓練（約1,500人対象）を実施した。

また、高度なセキュリティ対策を行うため、県と市町村等38団体が、共同で群馬自治体情報セキュリティクラウドを運用した。

(3) デジタル基盤整備

決算額 2,548,685千円

① 県庁情報通信ネットワーク運用管理

最新の技術トレンドを取り入れた第5次県庁情報通信ネットワークを稼働させ、運用管理を行った。

また、新たな働き方への対応のため、無線LANを全庁導入するとともに、自宅インターネット環境から県庁ネットワークへ接続する仕組みを整備した。

② 庁内ネットワーク用パソコン等整備

職員が、群馬県庁情報通信ネットワークに接続し、文書、資料等の作成や、各種業務システムへのアクセスに使用する、行政事務用パソコン・プリンタの運用保守を行った。

③ テレワーク推進

多様な働き方の実現、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時や災害時の業務継続確保を図るため、県庁ネットワークに接続可能なモバイルルータやグループウェアサービスの契約を行うなど、在宅勤務に対応できる環境を整備した。

また、県庁ネットワークの更新に合わせ、在宅勤務・サテライト勤務・モバイルワークの3形態を一本化したテレワーク要領を策定、10月及び11月をテレワークAction月間として積極的な実施を呼びかけるなど、テレワークを推進した。

④ 総務事務システム運用管理

給与・旅費、文書管理などの内部事務に係るコストを削減するため、総務事務システムの運用管理を行った。

また、次期総務事務システムの構築では、公募型プロポーザル方式による企画提案の結果に基づき選定した優先交渉者と順次契約締結を行い、設計工程～開発に着手した。

⑤ 財務会計システム運用管理

歳出管理、予算編成、公有財産などの会計事務をつかさどる財務会計システムの運用管理を行った。

また、次期財務会計システムの構築では、公募型プロポーザル方式による企画提案の結果に基づき選定した優先交渉者と契約締結を行い、要件定義～設計工程に着手した。

5 グリーンイノベーション費

(1) 地球温暖化対策推進費

決算額 42,671千円

① 地球温暖化対策実行計画推進

出前講座等を実施し、地球温暖化の現状や対策について普及啓発を実施した。また、事業の進捗確認として、県内温室効果ガス排出量を算出した結果、2019年度の県内温室効果ガス排出量は、16,752千トン-CO₂で、地球温暖化対策実行計画（改訂版）2011-2020の基準年度である2007年度に比べ、14.3%減少した。

② 温暖化対策率先実行

ア 県有施設の温室効果ガス排出量削減の推進

群馬県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、各所属・施設ごとに、エネルギー使用量等削減の目標・計画を定め、県の事務事業に伴う温室効果ガス排出削減を図った。

イ 県有施設省エネ改修

県有施設からの温室効果ガス排出削減のため、省エネ改修としてLED照明器具への更新（4施設）を実施した。

③ 群馬県気候変動適応センター運営

適応策について県民等への普及啓発を目的とし、適応レターを2回発行した。また、事業者が気候変動対策の視点を持つことを目的に、気候変動適応ビジネス講演会を実施した。

④ EV普及推進

温室効果ガス排出削減に向け、県民や企業の環境に対する意識の醸成と地域の環境課題解決に向けた行動を促進するため、脱炭素ライフスタイルをテーマとしたイベント（脱炭素ライフスタイルフェア）を開催した。

⑤ EV導入実証実験

県有施設5カ所にEV20台を導入し、平日は公用車として、休日は地域住民等とシェアするEVカーシェアリング実証実験を構築した。また、公用車へのEV導入にあたり、適正台数や運用方法についての調査を行った。

(2) 再生可能エネルギー推進

決算額 193,303千円

① ぐんま再生可能エネルギープロジェクト

地域の再生可能エネルギーを活用し、災害等による停電時に自立して電力を供給できる「地域マイクログリッド」の構築に向け、上野村の対象地域における設備導入に向けた工事を実施した。

また、砂防堰堤等の高低差を利用した小水力発電の有望地点の調査結果公表の継続により、発電事業者に対する情報提供を行った。

さらに、県民及び県内事業者の再生可能エネルギーの導入を促進するため、県内住宅に太陽光発電設備や蓄電池等を導入する個人を対象とする低利の制度融資を引き続き実施するとともに、群馬県内に再生可能エネルギー設備（再生可能エネルギー発電設備、再生可能エネルギー熱利用設備等）や効率的利用設備（蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）を導入する法人等を対象とする低利の融資制度を新たに開

始した。

加えて、太陽光発電設備や蓄電池等の更なる普及を目指して、太陽光発電等導入推進「官民共創事業」として、設備導入時の初期費用が0円になる仕組みである「初期費用0円事業」と、一括発注し購入することでスケールメリットを働かせて設備導入時の初期費用を低減する取組である「共同購入事業」について、県民向けを引き続き実施するとともに、県内事業者向けを新たに開始した。

このほか、国の「電力・ガス・食料品等価格高騰対策重点支援助地方交付金」を活用し、県内の中小企業者等や個人を対象に、太陽光発電設備や蓄電池の導入を支援する「電力価格高騰対策・再エネ導入支援事業」を新たに開始した。

事業概要	内容
砂防堰堤の落差を利用した小水力発電の有望地点調査の結果公表	13 地点の発電量や採算性等を県ホームページで公表
住宅用太陽光発電設備等導入資金	認定 26 件 融資額 52,870 千円
住宅用太陽光発電設備等初期費用0円事業	6 事業者 13 プラン登録
住宅用太陽光発電設備等共同購入事業	市場価格比で約 20%割引で購入 1,594 件申込、151 件成約
事業用太陽光発電設備等初期費用0円事業	2 事業者 2 プラン登録
電力価格高騰対策・再エネ導入支援事業費補助	補助金額確定 中小企業者等 18 件、69,274 千円 個人 343 件、36,850 千円

② バイオマス活用推進

群馬県バイオマス活用推進計画（第3次群馬県循環型社会づくり推進計画に統合）に基づき、バイオマスの種類ごとの賦存量及び利用量等の進捗状況を調査した。また、農林水産省の「みどりの食料システム戦略推進交付金」を活用し、地域内のバイオマス（事業系生ごみ）を活用したメタン発酵による発電施設の新設整備に向けた民間事業者の取組を支援した。

・バイオマス利用率(全種別合計：炭素換算)

計画策定時（令和2年度）	令和3年度	目標（令和12年度）
80%	78%	80%

③ 革新的環境イノベーションコンソーシアム

地域課題解決及びイノベーション創出に向けた異業種・同業他社との連携を進めるため、製造業企業、金融機関、エネルギーインフラ企業、大学及び県の計 17 団体からなるコンソーシアムを 12 月に設立し、意見交換会 3 回、勉強会 1 回を開催した。

(3) グリーンイノベーション加速化支援

決算額 26,521 千円

企業の脱炭素に関する専門家への相談会を 8 回開催した。また、カーボンニュートラルビジネス支援補助金を創設し、脱炭素化に資するビジネスの創出を支援した。
(5 件、24,920 千円)

6 地域外交費

(1) 国際政策推進

決算額 62,172 千円

令和4年度は、コロナ禍による海外渡航規制が徐々に解除される中、知事によるトップ外交を再開し、海外要人とのハイレベルな人脈を構築するとともに、先進的取組を視察し県政への反映に努めた。

区 分	実 績
米国	インディアナ州知事との会談 インディアナ州との交流に関する覚書締結 など
ベトナム	国家主席・第一副首相との会談 ベトナム外交学院との交流に関する覚書締結 など
フィンランド	先進地視察（サウナ文化のユネスコ無形文化遺産登録、探知犬研究、シェルター）

(2) 上海事務所運営

決算額 16,908 千円

上海事務所において、職員が現地駐在する強みを生かした上海市政府とのコネクションの構築・強化を基盤とし、県産品のPRや、販路開拓を行った。また、群馬県と上海市との交流強化を目的として、環境をテーマにしたオンライン交流や青少年交流等を行った。

区 分	実 績
観光誘客促進（旅行社等訪問、来所相談、観光展出展）	26 件
県産品PR（事業所等訪問、来所相談、物産展出展）	56
企業のビジネス展開支援（県内企業訪問、来所相談）	29
情報発信（ウェイボー）フォロワー数	58,491 人

(3) 国際交流推進

決算額 22,823 千円

① グローバル始動人テイクオフ

区 分	主 な 内 容
トークセッション・「世界発信力向上講座」・プレゼンコンテスト	県内の生徒・学生を対象に、世界で活躍する講師によるトークセッションや「世界発信力向上講座」、英語によるプレゼンコンテスト等を開催した。 ・参加者数 延べ2,174名（動画視聴含む）
小・中学生のための国際理解講座	県内の小・中学生を対象に、JICA 海外協力隊経験者による国際協力講座や国際交流員による異文化理解講座を実施した。 ・参加校数 小学校 4校

② 県民向け国際交流イベントの実施

県内の民間国際交流団体等と連携して国際交流イベントを実施し、県民の国際理解促進及び県内在住の対象国関係者との関係構築を図った。

区 分	主 な 内 容
ぐんまベトナム交流祭 (令和5年2月17日～ 2月18日・県庁1階県 民ホール)	ベトナムの食や文化を体験できる交流イベント（パネル 展示、ステージ企画、飲食物販売等）を実施。 ・来場者数 約8,000人

③ 海外県人会、海外ぐんまサポーターズとの連携

海外県人会等を群馬県の応援組織として委嘱し、現地の人脈づくりや情報収集等で協力をしてもらうことで、海外自治体や海外県人会等とのネットワーク構築を図った。

・県人会等の活動状況

区 分	構 成 員 数	主 な 活 動
在伯群馬県人文化協会	57人	・移住者相互親睦、生活援護指導
在北伯群馬県人会	24	・移住者相互親睦、生活援護指導
在パラグアイ群馬県人会	109	・移住者相互親睦、生活援護指導
南加群馬県人会	72	・移住者相互親睦、生活援護指導
ハワイ群馬県人会	47	・移住者相互親睦、生活援護指導
フィリピン群馬会	51	・移住者相互親睦、生活援護指導
上海群馬県人会	90	・上海事務所に各種情報を提供
香港ぐんまサポーターズ	21	・会員間相互親睦
ハノイぐんまサポーターズ	23	・会員間相互親睦

④ 語学指導等を行う外国青年招致（JETプログラム）

県及び市町村、私立学校等において国際交流員及び県内学校の英語指導助手（ALT）を受け入れ、本県地域レベルの国際交流推進と英語教育充実を図った。

・JETプログラム活動状況

区 分	主 な 内 容
英 語 指 導	英語圏各国から来日した175人の英語指導助手が小学校、中学校、高等学校等で英語指導に従事した。
国 際 交 流	各国から来日した4人の国際交流員が、自治体の国際業務（翻訳、通訳、住民向け語学講座、インバウンド観光PR等）に従事した。（配置先：県、前橋市、富岡市）

⑤ ウクライナ避難民支援

ウクライナから日本に避難し、本県滞在を希望するウクライナ避難民に対し、本県での生活を円滑に開始できるよう生活セットアップ支援等を行った。

区 分	実 績
生活支援金支給	53件
県内一時滞在先宿泊支援	1

(4) 旅券発給

決算額 18,796 千円

旅券法に基づき海外渡航に必要な一般旅券の作成・検査や旅券申請・交付の窓口である市町村旅券窓口業務の支援を行った。令和4年は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による海外渡航の往来制限が徐々に緩和されたこともあり、旅券の申請件数及び発行件数が緩やかに回復した。

- ・旅券申請件数 令和4年：11,121件、令和3年：4,647件、令和2年：12,741件
- ・旅券発行件数 令和4年：10,870件、令和3年：4,627件、令和2年：13,062件

男女別		有効期間別		
男	女	10年	5年	その他
5,934件	4,936件	7,583件	3,284件	3件